

テーマ：「かたち」

品川区立東大井保育園

【設定の理由】

子どもたちが日々、様々な形に出会い、触れたり感じたり創造したりと遊ぶ姿から、年齢発達に応じて、どのような「かたち」に出会い探求心や好奇心を育てていくか深めていく。

対象年齢

0歳児～5歳児

活動名：スカーフ遊び（0歳児）

ねらい：スカーフの形の変化や感触を楽しむ

0歳児～かたちとの出会い～

【用意した環境】

- ・スカーフ
(40センチ角のオーガンジー素材)

【活動内容】

- ・スカーフを使った感触遊びと見立て遊び

【子どもたちの様子】

自由に形が変形する「スカーフ」という素材に出会い、はじめは触れるだけだった子どもたちだった。しかし、保育者の見立て遊びをみて、真似をしたり、自分なりの遊び方を見つけたりする姿が見られた。一つの素材で集中して遊んでいた。

いないいないばあ！



これはなんだ？・・・

ゆびがとおった！

【保育者の振り返りと気づき】

- ・思っていた以上にスカーフの形の変化に気づいたり、自分なりに見立てたりして遊ぶことができていた。
- ・保育者一人一人の異なる遊び方の働きかけにより、じっくりとスカーフの形の変化を楽しんでいた。
- ・子ども自身の発見と気づきがあり、遊び方も広がっていくことが分かった。

ひっぱってみよう

ふきふき
(ぞうきんの見立て)



活動名：小麦粉粘土（2歳児）

ねらい：自分の作りたいものやイメージしたものを形にして遊ぶことを楽しむ

2歳児～かたちの変化～

【用意した環境】

・小麦粉粘土（粘土のシート、絵の具、型抜き玩具）

【活動内容】

・小麦粉粘土を使って自由に形を変化させて遊ぶ

【子どもたちの様子】

- ・さらさらしていた小麦粉が少しずつまとまってくると「ねんどになってきた！」と粉から粘土に変わっていく様子を不思議そうに、また嬉しそうに見つめていた。
- ・柔らかい感触を確かめながら遊び始め、遊びの中で作ったものを好きなものに見立てて遊ぶ姿があった。「おだんご」「けーき」など、想像を膨らませながら楽しんでた。色を付けると遊びが広がり、「型抜きをしたい」と保育者の伝え、用意するとごっこ遊びなどに展開して夢中になって楽しんでた。

こねこねしたら
ねんどができてきたね！



サラサラしてるね！



コロコロ…にぎにぎ…
ぺったんこ♪
色々な形に変身！



たくさんの
ブルーベリーをつくろう！



【保育者の振り返りと気づき】

- ・粘土になるまでの過程を子どもたちが実際に触れたり、見たりする事で、小麦粉の状態から粘土の形に変化をしていく様子に気づく事につながった。
- ・出来上がった粘土を使って丸める、伸ばす、ちぎる、平らにするなどの動きを通して、さまざまな形に触れ、「まるい」「ながい」など簡単な言葉で形を表現する姿もあり、形に興味が出てきていると感じた。
- ・「何作ったの？」「どんな形になった？」と言葉を添える事で、形に意識を向けながら遊ぶことができた。
- ・子どもの考えている姿に語りかけすぎず、静かにそっと寄り添う関わり方も、子どもの発想や表現をより豊かにするのではないかと感じた。

【用意した環境】

- ・はさみ
- ・のり
- ・色鉛筆
- ・様々な形の折り紙
- ・八つ切り画用紙（白）
- ・絵本“かたちとあそぼう”

【活動内容】

- ・“かたちとあそぼう”という絵本を元に折り紙を好きな形に切ったり、ちぎったりしながら制作をする

【子どもの姿】

- ・数日前に絵本「かたちとあそぼう」を読み、「やってみたい」と話す姿があり、三角や四角など複数の形を組み合わせることで色々な形になったり、切ったり、ちぎったりすることで形が変化したりすることに興味関心をもっていた。
- ・様々な形の折り紙を見ながら「〇〇みたい」と見立てたり、形を組み合わせで自分の思い描いている物を作ったりしていた
- ・一緒に制作する友達の姿を見て、「同じように作ってみたい！」と画用紙を反転させて、見せ合いながら制作する姿も見られた



経験を繰り返すことでイメージしたものをそのまま切れるようになってきたよ！

長方形も見方を変えたら“トンネル”に大変身！



友達がいると、
どんどんイメージも膨らむね！



【保育者の振り返りと気づき】

- ・同じ題材で繰り返し制作活動を行ってきたことで、自分なりに見立てて制作するおもしろさに気が付き、集中して取り組んでいた。ハサミの扱い方にも慣れ、イメージしたものを切り出す姿も見られた
- ・自分なりに見立てて制作をしながらも友達の存在も大きく影響し、友達の制作に興味をもち、お互いに同じように作ろうとしたり、作り方を聞いたりするだけではなく、同じように制作をするためにどうしたらよいか、考えながら制作をする姿も見られた。また、友達や保育者に認めてもらうことで自信につながり、次への意欲につながっていることを感じた。